

切手からドイツを考える

小川 義博

稲門フィラテリー 51号にオーストリア切手を通してわが国との比較文化笑論を記させていただいた。読み返して、民族、言語、文化面であり違いが無いと考える隣国ドイツの切手と相違が視られるか調べたく、ドイツ切手を整理してみた。前回、整理対象を2010年頃までに発行された切手にしたため、商業主義、営利目的の発行が本来の発行の目的を検討する障害になったと感じた。そこで、今回は西ドイツ切手発行開始の1949年からベルリンの壁崩壊2年後の1991年までのドイツ、オーストリア切手を整理対象とした。また、適宜、わが国のデータも参考に加味した。

発行数を図示すると両国ともほぼ同じ推移を見せ、この期間を見る限り、日本もまだ異常な発行数は示すことが辛うじて無いようである。

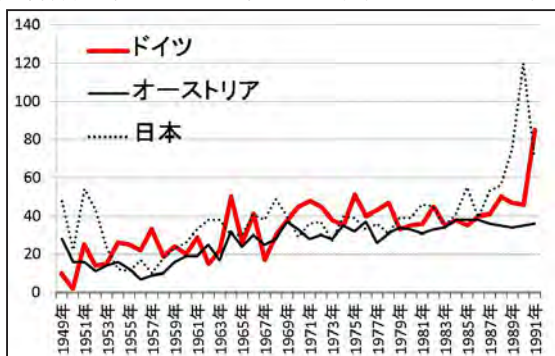


図1 3ヶ国の切手発行の推移

切手の外観はオーストリア切手よりも小型で、印刷が凹版主体でなく、オフセット、凸版、グラビア印刷が多く、両国の切手に明らかな差異を感じる。発行された切手を分類するとかなり異なっていた。図2に見るようにドイツが30%の切手を寄附金付切手として発行しており、また、普通切手の発行割合も多くなっていた。さらに、寄附金付切手を発行目的別に整理したのが表1

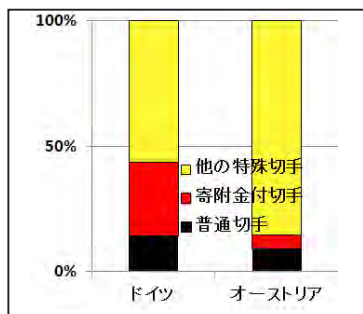


図2 切手の種類の割合

表1 寄附金付切手の発行

ドイツ	
発行内容	数
*社会福祉	168
*青少年育成	125
オリンピック	38
*クリスマス	34
*スポーツ振興	33
郵趣	21
建築物保護	6
その他	4
宗教	2
合計	431

*は毎年4種程度発行

オーストリア

発行内容	数
切手	45
義捐金	5
復興	4
合計	54

日本

発行内容	数
オリンピック	22
疾病対策	2
障害福祉	4
博覧会開催	6
文化財保護	3
合計	37

の切手展に加えて郵趣関係の事項で寄附金付切手を発行していたのが異なっており、切手収集を広い視野で援助していく姿勢を感じる。国際郵趣連盟会議、使用済み切手回収100年、国際郵趣文献展等、他の国には見られない記念切手が発行されており、切手収集の社会での位置付けの広さ、歴史を感じる。



国際郵趣連盟会議記念切手



国際郵趣文献展覧会記念切手

である。ドイツは発行数だけでなく、発行が規則的であった。1950年代は多くの発行内容であったのが50年代以降は表2に*をつけた発行内容で毎年一定数の種類の切手を発行しており、不規則に発行されているのは切手展開催などの郵趣関連のみであった。切手に社会生活向上の目的を役割は低くとも持たせるという明確な方針を感じる。オーストリアの発行目的が戦災を感じることから、両国の相違は敗戦国と被占領国としての立場の違いとは言えないであろう。両国とも切手の日(日本の切手趣味週間にあたるか)、国際切手展の切手に寄附金をつけて発行していたが、ドイツは国内

また、普通切手発行種類が表2のようにドイツは多く、郵便料金の変更が影響しているであろう。また、表2のように特定人物が40%の普通切手に描かれていたことが注意される。

これより先はオーストリア切手について指摘した右記の事項に従い整理、ド

表2 普通切手発行内容

ドイツ

内容	数
ホイス大統領シリーズ	31
建築物シリーズ	28
産業技術シリーズ	23
ハインリッヒ大統領シリーズ	21
城シリーズ	21
著名な女性シリーズ	18
名所シリーズ	18
ホルンシリーズ	17
著名人シリーズ	16
事故防止シリーズ	11
数字図案	1
合計	205



ドイツ普通切手

オーストリア

内容	数
建物シリーズ	34
美しきオーストリアシリーズ	28
民俗衣装	24
修道院シリーズ	15
合計	101

日本

内容	数
花・貝・文化財	29
第1次円単位	18
昭和すかしなし	17
第1次ローマ字入り	15
第3次ローマ字入り	15
第2次ローマ字入り	12
第4次ローマ字入り	12
第2次円単位	10
産業図案	9
合計 コイル等除く	137

ドイツ切手と比較検討する。

- 周年発行切手が多い ○宗教関係切手が非常に多い
- 人物に関する切手が非常に多い ○自然だけを描いた風景切手が非常に少ない ○博物館、美術館、展覧会、大学等、学術文化に関するものが多い ○勤労者、労働組合に関連する切手が多い

○周年発行切手が多いか

周年切手は一見オーストリアより少なく387種、全体の26%となっていたが、普通、寄附金切手(6種のみ周年記念)を除いた特殊切手の実に半数47%が周年切手であり、オーストリア44%とほぼ同じ割合であった。この周年切手の内容を整理したのが図3である。ドイツは特定個人の生誕、死去周年が周年切手の半数とオーストリアより高く、宗教関係の切手が多いこと、科学、技術立国らしく発明発見、竣工関係が多くなっていた。注意されたのが地方、都市に関する周年切手の割合が少なく、大きく異なっていた。これは両国の成り立ち、歴史、地理的な問題が影響していることを感じる。オーストリアがドイツより、団体、制度、運動に関係する切手が多いことはこの時代、国有化関連切手が見られることと関連付けて、オーストリアが社会民主主義国家として成り立っていたことによるのであろう。また芸術作品、文化施設の切手がオーストリアより少ないことは人物切手の人物の活動分野を整理した図4で音楽、文学等に活躍した者の生誕、死去切手が少ないことと関連付けてみる必要がある。

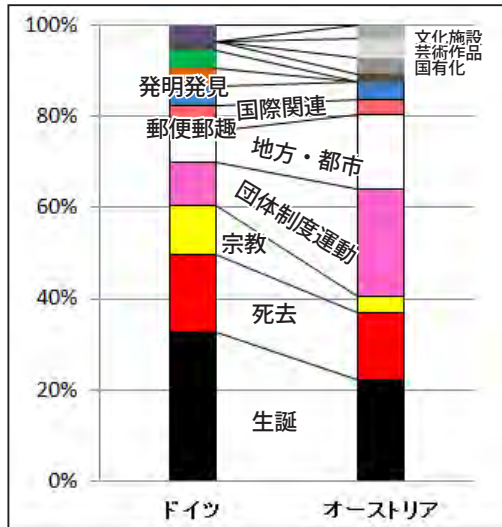


図3 周年切手の内容割合

次に、周年の年数で比較すると、国の成り立ちの経緯からであろうか、ドイツが表3のように500周年以上を記念する切手の割合が高くなっていた。ここで注意されるのがドイツの1周年切手と1000周年以上の切手の存在であった。1周年切手は表4のように、トーマスマンを除き、ナチス政権下のユダヤ人の精神的指導者レオ・ベック、戦後、アメリカ合衆国が推進したヨーロッパ復興援助計画提唱者の米国国務長官ジョージ・マーシャル、ドイツ復興の父アデナウワー(生誕100周年切手もある)、そしてケネディーと、発行の背景に政治的なものを感じる切手が多い。

次に、1000年以上の切手の内容は表5(次ページ)のように宗教的なものを除くと都市に関するものであり、オーストリアと同じ地方、地域、都市を大切にする傾向を感じるが、

表3 周年別発行数割合

周年	ドイツ (%)	オーストリア (%)
1~100年	49%	63%
~200年	20%	21%
~500年	18%	5%
~1000年	10%	11%
~2000年	3%	0%

表4 1周年発行切手

トーマスマン死去1年
ユダヤ教律法学者ベック死去1年
米国政治家マーシャル死去1年
ケネディー死去1年
アデナウワー死去1年
ベルリンの壁崩壊1年 2種

ドイツはより狭い地域、都市が持つ意味の強い社会かと考える。都市の周年切手はわが国でも発行されているが、創都、遷都、開府に関するもので中央集権の視点であり、かなり性格を異にするものである。

表5 1000周年以上発行切手

リューネブルグ市 1000年
アジャツェン 1000年
トリア市中央市場 1000年
ブックスフェーデ市 1000年
フェルン市通貨鑄造権 1000年
ヴァルスローデ市 1000年
メールスブルグ市 1000年
マインツ大聖堂 1000年
詩人修道女ロバートゥア死亡 1000年
レヒフェルトの戦い 1000年
オスナブリュック市 1200年
オットビュルン修道院 1200年
ヘルフェスト市 1250年
プレーメン司教座 1250年
殉教伝道師死亡 1300年
聖ベネディクト生誕 1500年
マインツ市 2000年
トリアー市 2000年
ノイス市 2000年
アウスグブルグ市 2000年
ボン市 2000年
シュパイエル市 2000年
ブドウ酒醸造 2000年



アデナウワー死亡 1年



マインツ市 2000年



ブドウ酒醸造 2000年

○宗教に関係する切手が多いか

オーストリアに敬虔なキリスト教信仰を感じる切手が多かったが、それにも増してドイツ切手にもそれを強く感じる。しかし、その内容は異なる。オーストリアは大聖堂、修道院等の建築、内部装飾、司教管区、司教監督区、司教区に関係するものが多かったが、ドイツは聖職者、キリスト教宗派の大会、会議に関係するものが多く、明らかな違いを感じる。宗教のハードとソフトと、両国では異なる側面を切手にしており、知識のない身にはこの意味することは宗派の存在、割合だけなのか判らない。

○人物に関する切手が非常に多いか

人物切手はオーストリアで18%と高かったが、ドイツは更に24%と高い結果であった。これは普通切手の大統領シリーズ等の人物86



世界聖体大会



カトリック教会会議

種(普通切手の41%)が影響しているかと考え、普通切手を除いてみたが20%、更に、ドイツ切手を考えるとき考慮すべき寄附金切手を除いた特殊切手に限ると33%もが人物を特定できる切手であった。

どのような活動分野の者が切手になっているか難しいが、整理したのが図4であり、非常に異なっていた。まず、ドイツでは政治家が非常に多く切手になっていることであった。これは普通切手に政治家として大統領をシリーズにしたことがおおきいが、このシリーズを除外しても政治分野が最も多い結果であった。政治に次いで社会活動家が多くなっており、反ナチ活動家、社会福祉活動・医療福祉活動家が切手に描かれていた。他に目立つのはやはりオーストリアより音楽関係がかなり少なく、合わせて他の芸術領域の切手が少ない傾向がみられた。

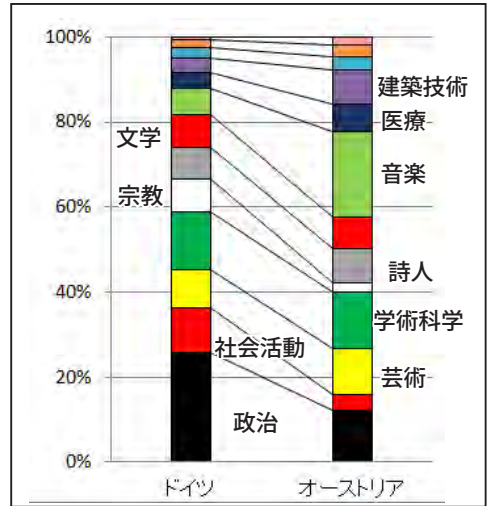


図4 切手になった人物の活動分野

さらに、人物切手全体で大きな差を2点感じた。第1に女性が多く対象になっており、約13%が女性でありドイツでの女性の地位の高さを感じると同時に、女性問題、団体に関する切手とあわせて、さらなる女性の地位向上に意を注いでいる社会を感じる。この辺りからも、現女性首相の活躍もうなづける。第2は人物の時代、国籍を問わず対象としていることである。ダヴィンチ、ミケランジェロの生誕記念にはじまり、フランス、チェコの政治家、ノルウェー探検家まで、幅広い視野で選択され、オーストリアと明らかに異なっていた。これは国際社会での立場、そして地理的な位置がこのような人物切手を生む背景であろう。



反ナチ白バラ抵抗運動女性活動家ゾフィー・シヨル



著名な女性シリーズ
女権拡張運動家
ザロモン



代表作品で生誕500年記念
ダヴィンチ



ミケランジェロ



フランス政治家
モネ



ノルウェー探検家
ナンセン

また、ナチという歴史の重荷を負っていることも多くの人物切手が示している。

○自然だけを描いた風景切手が少ないか

オーストリアでは建物が入らない自然風景の切手が少なかったが、ドイツ切手は建物が入った自然風景の切手でさえも見つけることが難しい。しかも、デザイン化され、凹版、凸版印刷した風景のものが多く、オーストリア、日本に見るような写実的に自然をグラビア・オフセットで描いた切手は無く、自然を描いた絵画作品の切手1枚だけであった。これに対して建築物、産業関連構築物が非常に幅広く切手になっていた。このようにみても、両国の自然風景に対する見方にやや相違を感じるが、両国ともわが国の自然風景を愛でる文化とは異なるものを感じる。特に、1969年から73年に発行された観光目的切手が注意された。自然風景がほとんど描かれてない都市の景観13種の切手はわが国の自然風景を主とした観光目的の切手と比較し、興味深い切手である。もう一方の自然対象である動植物はドイツがオーストリアより多



ドイツ北海の景勝地？ヘルゴラント島が2枚の切手になっている。(凸版・凹版)



垂直に押された岩の形成を楽しむ Externstein 自然保護区の切手 (凸版印刷)



1969年ヨーロッパ自然保護年切手(凹版・オフセット印刷)



1978年発行ドイツ印象派切手 やっと見つけた見慣れた風景を描いた切手も絵画切手の1枚(グラビア印刷)

く切手になっていたが、気になるのは3分の2、90種近くが福祉目的の寄附金付切手であり、トピカル収集を念頭に販売促進を意図したと考えるのは過ぎたることであろうか。



ブレーメン市 アーヘン市 コッハム市



ハンブルグ市 ザールブリュッケン市 ゴスラー市
4年間に13種発行された観光切手のうちの6種

○博物館、美術館、展覧会、大学等、学術文化に関するものが多いか

オーストリアは学術文化に関わる施設、催しの切手を多く発行していたが、意外にもドイツは少なかった。特に、会議、展覧会等の催し物に関する切手の発行がオーストリアの半分にも満たない。しかも、表6のように発行切手の内容に明らかな差がみられた。オーストリアは国内での職業、産業、学術団体の会議に切手を発行していたが、ドイツは国際会議関係以外は郵便・郵趣関係と宗教関係の会議であった。そして宗教の会議も諸宗派の会議に切手を発行していたことが両国で宗教事情が異なることを感じさせる。

更に、差があるのが展覧会に類する催しの切手発行である。オーストリアが美術を中心とした芸術展、州、市単位の地方展を中心に多くの切手を発行しているが、ドイツは半分にすぎず、その7割が切手展であり、美術展がまったく発行されていない。

○勤労者、労働組合に関連する切手が多いか

社会民主主義国家としてスタートしたオーストリアが労働環境、労働組合に関する切手が多いのに対して、ドイツは少なく、労働災害防止を含む事故防止を訴える普通切手が発行されて

表6 郵便・郵趣、宗教関係の会議、展覧会切手

	ドイツ		オーストリア	
会議	28		81	
	郵便・郵趣	8 29%	郵便・郵趣	9 11%
	宗教	6 21%	宗教	2 2%
展覧会	35		61	
	郵便・郵趣	26 74%	郵便・郵趣	21 34%



カルヴィン派
世界会議



ルーター派
世界会議



カトリック会議
世界会議



ハンブルグ国際切手展



第10回国際青少年切手展



普通切手 4種
事故防止シリーズ



労働組合誕生100年

いたことに加え、労働組合結成の記念切手の発行も少ないと感じる。

以上、隣接し、同一言語、歴史を共有するこの二国、国際的な位置付け、経済力等の違いから異なる面が切手に見られることは想像したが、それだけでなく、宗教を背景とした異なる文化的側面を切手に見ることができた。

更に、ドイツ切手を整理し、オーストリアとわが国にはない2つのことを感じた。

☆ドイツ切手は社会生活の広い意味の安全、安心に関わる切手が多い。

切手発行目的に安全、保護、保障、防止、予防、撲滅、救助、救済、愛護、養護等を含むものが約90種もある。内容を見ると、人権、自然、災害、事故、弱者、疾病、文化財、未開発国、内外難民等、幅広い対象が切手になっているのが特記される。これら特殊切手に加えて、福祉、青少年福祉目的の切手が毎年8種づつ300種近くも発行されていたことを考え、ドイツの切手発行の目的には社会、個人生活に対して幅広いセーフティーネットの大切さを訴えることを重視していると考ええる。

上記に類する切手で、飢餓救済、海難救助、難民救済などを複数年にわたり周年記念切手と



道路交通法改正
交通安全



環境保護



アムネスティ協会
人権擁護



救護活動



交通災害救助



飢餓救済年



麻薬使用防止



ガン予防



救済事業 25年



養護施設 150年



動物愛護

ライ病撲滅

して10年ごとに発行しており、わが国の外交条約を中心とした周年切手と比較し、切手発行にかなり異なる面を重視していると考えられる。

☆ナチスドイツの負の遺産を払拭、未来に活かそうとする姿勢が切手になっている。

誰もが感じているように、戦後のドイツの宿命、ナチの犯罪行為に対する謝罪と反省を表す切手を数多く発行してきている。さらに、その反省から、平和と民主主義の大切さを訴える国の姿勢を切手に反映していると明確に感じさせる。また、ナチに対して抵抗運動をおこなった活動家を追悼する切手も多く発行している。そして過去の多くの犠牲者を教訓とし、民主主義の意味を多くの切手に表現していることは、わが国と非常に異なるものを感じざるを得ない。

この拙文のため切手を見直し、大きな見落としを1枚の切手に気がついた。さすが切手収



1933年政権についたナチス政権下1938・11・9に起きた反ユダヤ主義暴動「水晶の夜」50年切手、炎上するシナゴークを描く



大学講義前にヒトラー敬礼を強制されたことに抗議する宗教家が1934年にバルメンの会議で「イエス・キリストは神の言葉である」と宣言した文を記す50年記念切手



ナチス政権(1933~1945年)12年の迫害と抵抗を記す切手。有刺鉄線は迫害、白いバラは抵抗を表す。



ゲルデラー反ナチス活動家。ヒトラー暗殺計画に失敗して処刑



シュタウフェンベルク伯爵、予備軍参謀長時ヒトラー暗殺計画に失敗して処刑



民主主義の根本思想を記した切手
ドイツの憲法・連邦共和国基本法第20条の規定より
国家秩序の基礎
法治国家 三権分立 主権在民



民主主義の根本
連邦ラック州自治体との協力を表す組紐



民主主義の根本
男女同権
ジェンダーシンボル



民主主義の根本
投票
平和 理解・協調

集を大切にしている国と感じていた紙付切手が描かれた1988年発行「使用済み切手回収100年記念」切手にてである。切手の「BRIEFMARKEN FOR BETHEL」のBETHELという文字に目が止まった。1968年久しぶりに春を迎えたチェコ・プラハへのソ連軍侵攻をベルリンで知り、国境への思い、その意味を再認識した翌日に訪れた「障害者の市(町、医療福祉施設)「BETHEL」を思い出した。明治の中ごろに、もう使用済み切手を福祉作業へ利用し、資金獲得に活用していたのである。再度、他の切手を調べ直し、改めてドイツの切手発行の姿勢



切手回収100年記念
BETHELの文字とロゴマーク

を考えた。他に4種の切手にBETHELを見つけた。明治政府誕生の1867年に開所したBETHEL100周年切手(3代目BETHEL施設長ボーデルシュヴィンクを描く)とその施設長生誕100年切手、そしてその父の2代目所長を描く寄附金切手、2つの戦火と迫害から施設、子供たちを守り抜いた親子が3種の切手になっている。



ボーデルシュヴィンク親子
開所100年切手



3代目施設長



2代目施設長

もう1種はBETHEL施設内郵便局の切手である。広大な敷地内の街並みの中の建物である。広大な墓地に、死亡した利用者、職員の無数の墓標が整然と並んだのを目にした時の何とも言い表せないショックを思い出させる。そこに感じた宗教の持つ圧倒的な力をこれら切手だけでなく、切手発行全般に感じるドイツ切手であった。



BETHEL郵便局